

キリスト教保育への “こだわり”を大切に

「福音のためなら、わたしはどんなことでもします。」
(コリントへの信徒への手紙一 9章23節)



日本キリスト教団
能勢口教会 牧師
学校法人大阪YMCA学院
評議員
はやせ かずと
早瀬 和人

YMCA幼稚園が兵庫県猪名川町松尾台の地に立てられて40年、白金の地では25年が経過しています。ということは、松尾台幼稚園の初代卒園生は40歳代半ばを過ぎ、しるがね幼稚園の方では“アラサー”と呼ばれる世代になっておられるはずで、卒園生が教諭として園に戻ってこれておられます。いずれは「ボクのじいじもな、YMCA幼稚園来ててんで」と語る園児が現れるのも時間の問題でしょう。歴史を感じるYMCA幼稚園となりました。

ところで、この歴史の流れの中で通奏低音のごとく響いているのが“キリスト教保育”という神の愛に満ちた響きです。YMCA幼稚園でのキリスト教保育――それは、決して旋律を奏でるほどの派手さはありませんが、「これは譲れない」という思いや“こだわり”を感じさせてくれます。そのほんの一例ですが、クリスマス・ページェントでは保護者の方たちを前にして、「これは生活発表会のようなものではなく礼拝です」とこだわりをしっかりと語り、カメラやビデオの持ち込みを禁止するところ。また、先生たちが園児と一緒に祈りする時、どの先生も最初の呼びかけの言葉が決まっています。「いつも天にいて僕たち私たちをお見守りくださる神様…」と祈り始めるところ、等々です。このさり気ない“こだわり”を私はとても気に入っています。私たちが、“こだわり”という言葉を目にすると、「あの人、こだわりの人や。頑固やわ。」などと、やや否定的な印象を感じてしまうかもしれませんが、実は多様な価値観が存在する中において、「これは譲れない。これは大事にすべきもの。」といった確固たる確信からくる安定した力強ささえ感じるものです。

新約聖書に登場するパウロさん。かなりの“こだわり”の人で、頑固でガチガチのユダヤ教徒でした。でも、キリストに出会ってからは、それまでの“こだわり”をあさりと捨て、新たにキリストの福音にこだわるようになるのです。そして、今までとは打って変わり、様々な縛りから自由に生きる者へと変えられました。上

記の聖句は、そんな彼が語った言葉です。ある牧師がこの箇所の「福音のためなら」という言葉は「福音によって」と訳せると書いていましたが、YMCA幼稚園・保育園で奉職する教職員一人ひとは、まさに「福音によって」さり気ない“こだわり”をもちつつ、子どもたちと共に、梓にはめ込むのではなく、個々の子どもの個性を第一とするところから生まれる“こだわり”によって、日々の保育の業に励み続けている、そう信じています。

YMCA幼稚園は「こども園」となり、いっそう園への期待が高まって、変化も求められています。けれども、「神よ、変えることのできないものを受け入れる潔さ、変えることのできるものを変える勇気、そして両者の違いを見分ける知恵を私たちに与えてください。」というアメリカの神学者ラインホルド・ニーバーの祈りの言葉にならい、いかなる時代の変化の中に置かれようとも、決してキリスト教保育への“こだわり”を見失うことがないように…と願っています。そうすれば、ますます神に愛されて、地域の人たちに支持され続ける「地の塩、世の光」なるYMCAこども園とされてゆくことでしょう。

INDEX

・キリスト教保育への“こだわり”を大切に	1P
・Yボランティア活動紹介 ～こども園事業～	2P
・YMCAフレッシュ	
・デンマーク国際学校 受入プログラム報告	
・ビクトリアYMCA パートナーシップ締結	
・シニア オーストラリアメルボルンツアー報告	3P
・食育コラム	
・中日本YMCAグローバル教育研修会報告	
・早天祈禱会 ・会員 ・賛助会	4P

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人の力と力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

Yボランティア活動紹介

～こども園事業～

にしかわ やすゆき
YMCAしるがね幼稚園 園長 西川 泰行

YMCA幼稚園でのボランティア活動には、まず保護者会があります。保護者の皆様は、入園されると同時に保護者会に入られ、保護者会の運営と園の諸行事をサポートするご奉仕をいただいています。

また、YMCA松尾台幼稚園では、40年前の開園当初より第一期生保護者の皆様が始めたコーラスグループ「コールアゼリア」があり、今日まで欠かすことなく毎月のお誕生会で歌のプレゼントをしてくださっています。一方、YMCAしるがね幼稚園では、「おもちゃ箱」という在園児の保護者有志の皆様による人形劇のグループがあり、鑑賞会や行事に出演いただいています。最近では、YMCAの各保育園や地域の子育てサークル、公立幼稚園からも公演依頼があり、様々な場所で活躍されています。

これまでの保護者会の運営は、お母様方が主でしたが、昨年よりお父様方による「ダディーズクラブ」が発足し、精力的にご奉仕いただいています。また、地域の方々からの協力もあり、「白金プラチナクラブ

(地域高齢者の会)」の皆様は幼稚園のバンピカニバルやおもちつきなどの行事のお手伝いをいただくなど、在園の保護者の皆様に加えて、地域の多くの皆様のボランティア活動に支えられ、幼い子どもたちの育成にご協力いただいています。



「ダディーズクラブ」奮闘中

かわい あつし
YMCAしるがねダディーズクラブ 川井 淳史



YMCAしるがね幼稚園を拠点として活動しています。現在は15、6名前後のお父さんがメンバーで、連絡方法はメーリングリストや各種SNSです。活動は、YMCAしるがね幼稚園内での補修等を中心にを行っています。これまでに、ボルダリング(クライミング・ウォール)の製作、砂場の改修、大型遊具のメンテナンスなどを行いました。毎回、活動には平均8名ほどの方に参加いただいています。時には子どもも父親の姿を見ながらお手伝いをし、自然発生的に数人の父親がいる子どもと遊んだりしています。

個人的には、これらの活動を通して、まず多くの父親とコミュニケーションを図ることができたことが最大の成果です。また、園長先生の幼稚園に対してのビジョンを生の声で聞けることも大きいと思います。その中にはYMCAを広く知ること含まれ、今後のダディーズクラブについては、幼稚園から地域へ活動を広げていくことを考えています。そのためにも、「YMCAしるがねダディーズクラブ」から「YMCAいながわダディーズクラブ」へ名称変更を考えています。YMCAの冠をつけている以上、YMCAをもっと理解し、その上でこれから地域に出る際には、他のボランティア団体ともコラボレートし、子どもを育む地域づくりができればと願っています。



子育てサロン

うえだ ひろこ はまぐち まり
担当スタッフ 上田 裕子・浜口 真理

YMCAしるがね館で実施する子育てサロンは、地域の未就園児とその保護者を対象に開放しており、今年で開設5年目となります。柔らかいマットを敷いた床でのびのびと運動したり、温かみのある木のおもちゃで遊んだり、ゆったり絵本を楽しむことができます。ペットボトルなどが素材の手作りおもちゃもあり、実際に遊んでみてアイデアを持ち帰ってもらえることもできます。月一回程度、季節を取り入れたクラフトや親子ふれあい体操、子育ての不安を取り除く機会として講師によるセミナーなどのプログラムを行っています。

施設の近隣には大型スーパーや公園があり、気軽に立ち寄れる立地環境です。周辺のニュータウンに新しく転居されて来られた方の多くは、ご近所さんに教えてもらい、ここで親子で新しいお友達と出会われています。育児の孤立化が問題になる昨今、保護者の方々のコミュニケーションの場の一つとなり、地域のお役に立てているのではないかと思います。第一子目の保護者の中には、お子さんの人見知りや人に溶け込めるような雰囲気作りには配慮しています。母子密着状態の方々には、保護者以外の大人とも案外楽しく過ごせたという体験を自信につなげてもらえるようプログラムを進めています。その経験の積み重ねが、将来の人間関係における安心感や余裕、肩の力を抜いた子育てのもとになるかもしれません。小さな出会いの毎日ですが、これからの社会を作っていく人たちがニコニコして帰るのを見て、やりがいを感じています。



YMCAフレッシュ

こだま たかあき
YMCA松尾台こども園 スタッフ 児玉 貴晃



私は今、YMCA松尾台こども園でたくさん子どもたちと様々なことにチャレンジしています。午前是在園児を対象とした体育・水泳活動、午後是在園児と卒園児を含む小学生を対象にした水泳やサッカーなどの課外クラスを担当しています。担当した当初、子どもたちと接する中で自分の考えや思いがなかなかうまく伝えられないこともありましたが、「今日の体育楽しかったよ!」「早くプールで遊びたい!」という元気いっぱいな子どもたちの声や笑顔に励まされながら、子どもたちと楽しく活動する毎日の中で、少しずつ自分なりの努力を始めています。特に午後のプログラムでは、子どもたちの向上心を大切にしながら取り

組んでいます。例えばサッカークラスでは、ボールを狙い通りにキックしたい、フェイントで相手を上手にかわしてドリブルしたいなど、それぞれの目標は違いますが、何度も練習を重ね、自信を持ってプレーできるように、メンバーと同じ歩幅で共にチャレンジする姿勢を大切に取り組んでいます。私自身、子どもたちと活動している中で、時々子どもとの関わり方に不安を感じることもあります。いろいろなことができるようになりたいと楽しみにしている子どもたちに、分かりやすく教えることは簡単ではないからです。しかし、そのような関わり方について悩む中でも、「リーダー見て!やったらできた!」と、とても嬉しそうに教えてくれる子どもたちの表情や新しいことにチャレンジする眼差しなど、わずかな変化に少しずつですが、気づくようになりました。技術を教えるだけでなく、子どもそれぞれの頑張りや認め、励まし、共に成長することの大切さを改めて感じます。小さな変化に気づき、それを大きな自信へとつなげることができるように、そして、子どもたちの背中をそっと押してあげる存在を目指します。

デンマーク国際学校

—Eisbjerg International Efterskole—

(アイスビャオフス・インターナショナル・エフタスコレ)

受入プログラム報告

大阪YMCA国際専門学校 ことばやし なおき
高等課程 国際学科 (IHS) 学科長 小林 直樹

大阪YMCAインターナショナルスクール(OYIS)とインターナショナルハイスクール(IHS)で、デンマーク国際学校の生徒20名を受け入れる交流プログラムを1月19日~29日の期間で行いました。

このプログラムは、IHS卒業生の水谷朋美さんがデンマーク留学を経て、昨夏よりデンマークで教員になり、母校IHSをはじめとする大阪YMCAとぜひ交流プログラムをしたいという熱意と、国際的なプログラムを積極的に実施しているOYISとIHSの思いが一つとなり、実現したものです。3月にはIHSの生徒がデンマークを訪問し、次年度からも交流プログラムを実施する予定です。

大阪YMCAでのプログラムの他に、河内長野市内や大阪市内での2回のホームステイ、清教学園高校・大阪府立長野高校での授業・部活動参加をはじめ、東大阪市長への表敬訪問や紀泉わいわい村での農村生活体験、日帰りで京都・大阪ツアーと充実した10日間となりました。

帰国前日のFarewell Party(お別れ会)で、「Y.M.C.A.」の替え歌をデンマークの生徒が披露しました。先生や生徒全員が感謝の気持ちを込めて、夜遅くまで何度も話し合い、練習を重ねた成果がみられました。
"Japan. Much fish and rice we ate. Here in Japan. We all got a new mate. Here in Japan. These friendships will never fade away and it has been so great. It's fun to stay at the YMCA."



ビクトリアYMCA パートナーシップ締結

2016年2月、大阪YMCAはオーストラリアのビクトリアYMCAと新たにパートナーシップを締結しました。ビクトリアYMCAは「HEALTHY LIVING」「EMPOWERING YOUNG PEOPLE」を方針として年間予算100億円規模の事業を展開しながら、青少年の非行や移民(難民)など社会課題に対する活動にも積極的に取り組んでいます。また東ティモールやカンボジア、ミャンマーへの支援活動に積極的な関わりを進めるなど、アジアの一員として国際的な役割を担っていくとする意識を強く持ち、大阪YMCAが進める「東アジアアーバンネットワーク(EAYUN)」への参画も決まっています。今後はインターンシップをはじめ指導者レベルでの交流や、国際コースフォーラムなどグローバルユース・エンパワメントを育む交流事業を発展的に進めていきます。



★南十字星輝くメルボルンの地を訪ねて

～シニアのためのオーストラリアメルボルンツアー参加報告～

うえの あやこ
参加者 上野 綾子

大阪から飛行機で半日かけて、日本とは反対の気候である南半球の地へのツアーに参加し、ワクワクの毎日を過ごすことができました。ビクトリアYMCAで行われたシニアの方々の交流プログラムでは、現地の参加者のお元気に目を見張るものがありました。初参加の方を気づかい、声掛けやトレーニング方法を助言するアンバサダーのような方がたくさんおられました。31歳の時から52年間通われている男性が、筋力・体カトレーニングプログラムで丁寧に指導してくださいました。内容も、バランスボールを使うことで、より安全にスクワットができる・単なるスクワットが上肢のトレーニングも兼ねているなど、なるほど!と思うことがたくさんありまし

た。また、20年間続けられているラインダンスとタップダンスのグループは、年間40回も慰問などの公演をされており、そのテクニックの素晴らしさには驚きました。

私たちが浴衣や法被を着て阿波踊りを披露し、現地の方々と一緒に円になって踊り、交流を深めました。観光では、野生動物や世界最小のペンギンを目の前で見たり、ワイナリー見学をしたりしました。また、蒸気機関車の窓に座り、脚を窓の外に出して走った際には、童心に帰って皆で楽しむことができました。

日本では見ることのできない南十字星や満点の星空を眺めながら、これからも元気でいるためにはどう過ごしていけばよいのかを考え、その秘訣をたくさんもらったツアーでした。



春野菜を食べて元気に



うらし み さ
YMCAたかつきあま保育園 スタッフ 浦西 美佐

春野菜には、ふきのとう、菜の花、アスパラなどがあります。菜の花などは少し苦味があり、苦手だと感じるかもしれません。しかし、春の野菜には冬に溜まった老廃物を体外へ排出する効果や、ビタミンを補給して免疫力を高める効果があります。そこで、苦味成分を抑える食材である油を使って炒めたり、揚げて天ぷらにしたり、またチーズやナッツなど他の食材を少し入れて一緒に調理したりすると、食べやすくなります。

YMCAたかつきあま保育園では、野菜が少し苦手なお友達もいます。特に、ほうれん草や小松菜などの緑色が濃いものは苦手なようです。お浸しでは食べられなくても納豆和えにすると、大喜びでパクパクと食べることができます。また、お友達が食べているのを見て自分もチャレンジしようという気持ちになり、いつもは食べられない野菜でも食が進むようになるという、保育園ならではの光景も見られます。そのため、給食でも子ども達が食べやすい



味付けを工夫したり、野菜に少しでも興味を持てるように旬の野菜を展示したりしています。

これからいろいろな旬の食材を使って、ご飯の時間を楽しみにしてもらえそうな給食を作っていきたいと思います。

鶏肉とアスパラのチーズ焼き (2人分)

【材料】 鶏肉(もも肉) 1枚 塩、胡椒 少々
アスパラ 3本 チーズ 40g
玉ねぎ 1/4個 炒め油 適量
マヨネーズ 大さじ2

- 【作り方】
1. 鶏肉を一口大に切る
 2. アスパラは斜め輪切りにして下ゆでしておき、玉ねぎは薄切りにする。
 3. フライパンに油を熱し、鶏肉、玉ねぎを炒め、下ゆでしたアスパラを入れる。
 4. 塩、胡椒で味を調える。
 5. 玉ねぎがしんなりしたら火を止めて耐熱皿に移す。
 6. 全体をマヨネーズで和えてチーズをのせ、チーズがとろとろするまで焼く。



これまで毎号連載していましたが、今後は不定期の掲載となります。引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。

平和をつくる人になろう!

～中日本YMCAグローバル教育研修会報告～

いしばしひでき
グローバル事業推進室 石橋 英樹

去る2月13日と14日、富山、京都、神戸、和歌山そして大阪の各YMCAから参加者と実行委員の27名が六甲山YMCAに集い、第16回中日本YMCAグローバル教育研修会が実施されました。今回は、ファシリテーターに大阪女学院大学 国際・英語学部教授の奥本京子さんをお迎えし、競合、衝突、対立、葛藤、緊張などの意味を持つ英単語である「コンフリクト (conflict)」にはどのようなものがあり、それを解決するために仲介する平和ワーカーにはどのような役割が期待されるのか、座学だけでは理解しにくいこうしたテーマについて、体や物を利用したワークショップを通して頭で考え、体で感じる時間を共有しました。

高校生から60代のワイズメンまで幅広い年齢層の参加者たちは、2日間にわたる研修会で地域間や世代間の交流を深めつつ、空想世界での紛争から家庭内の葛藤まで、様々なレベルのコンフリクトを改めて見つめながら、自分たちにできることを考え、明日からのYMCA活動に生かすことを心に決めてそれぞれの場所に帰って行きました。



大阪YMCA早天祈祷会

■第275回 日時…2016年3月18日(金)7:30～8:30

証し…佐竹 博さん
(大阪YMCAウエルネス事業本部 部長)

場所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2016年1月度報告・敬称略

【新規会員】

岡村 真
小川 明彦
奥田 和弘
尾和 信孝
加計 純子
加治 沙奈悦
鹿嶋 靖之
金巻 美玲
城戸 亮史
金 秀男
楠川 里美
工藤 義正
黒島 里歩
黒田 晴香
小池 晃
合田 彩夏
小角 彩華
越山 奈緒
後藤 清
古藤 菜央
小森 愛実
齋藤 郁恵
阪口 千穂
佐古田 修
佐藤 恵理子
重信 直人
岡久 桃奈

【継続会員】

新井 陽子
池上 正
石橋 ルキ
石原 実香
伊藤 俊彦
稲付 洸太
井上 由梨
井之上 芳雄
猪瀬 正雄
大野 真由美
岡田 麻里
岡久 桃奈

小路 清一
神社 洋一
鈴木 良洋
澄川 菊代
高瀬 里菜
瀧中 慎介
田中 智泰
中西 千尋
長野 碧
中村 和麻理
西川 勝久
西村 麻衣
萩原 義明
畠平 雅生
八田 りさ子
花本 茜
林 恵美子
早瀬 和人
速見 莉奈
平地 真菜
平野 翔子
福島 真一
藤井 道雄
堀 菜々子
堀田 教史
本間 みつ子
増成 恒哉

松下 徹
松田 安紀子
松野 五郎
松本 武彦
松本 三枝子
真弓 華奈
森永 真唯
柳村 有花
矢野 優輔
八尋 孝一
山口 ひかる
山地 和家子
結城 美沙
吉田 誠二
和田 千夏
渡辺 文香

【継続賛助会員】

紀伊産業株式会社
有限会社杉本写真場
株式会社創元社
タキロン株式会社
株式会社
田邊空気機械製作所
朝陽電気株式会社
株式会社
阪南ビジネスマシ